

報告

国際的なリハ工学・支援技術団体連盟に関する経過報告ならびに、
ボローニャ宣言へ賛同する協会署名についてのご報告

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 桂 律也

1. 国際連携の推移

私共、日本リハビリテーション工学協会は、2000年に北米リハビリテーション工学協会 (RESNA = Rehabilitation Engineering and Assistive Technology Society of North America)、欧州リハビリテーション工学協会 (AAATE = Association for the Advancement of Assistive Technology in Europe)、豪州リハビリテーション工学協会 (ARATA = Australian Rehabilitation & Assistive Technology Association) と徳島アグリーメントを締結し、以後、リハ工学 (RE) / 支援技術 (AT) の分野における国際連携を推進してまいりました。

2011年には韓国リハビリテーション工学協会 (RESKO=Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of Korea) との間で MOA (memorandum of agreement: 合意覚書) を交わし、2015年には、RESJA、RESKO に台湾リハビリテーション工学協会 (TREATS=Taiwan Rehabilitation Engineering and Assistive Technology Society) を加えた三者間の MOA を締結しました (2015年度事業報告)。

これらのアグリーメントは、海外の RE / AT に関する団体との情報交換、相互交流などを主な目的とした、いわば姉妹組織的な意味合いをもったものでしたが、近年の情報技術をはじめとする工学技術の進歩、障害のある人々の社会参加の拡大、途上国支援など世界規模の様々な状況を鑑み、世界規模の RE/AT 分野における国際連携の新たな枠組み作りの必要性が生じてきました。そのため、2016年に、RESNA 主導のもと、支援技術専門家組織連合 (AATPO: Alliance of Assistive Technology Professional Organizations) (仮称) の素案が検討され、RESNA、AAATE、ARATA、RESKO、TREATS、RESJA の 6 団体が、あらたな国際的枠組みの検討を

行う中央委員会 (Steering Committee) のメンバーとなりました (2016 年度事業報告)。

以後、各団体のカンファレンス時やメールによる情報交換を行ってきましたが、2018年11月の RESKO カンファレンス期間中の AATPO 会議 (国際連携推進委員会のメンバーである国立障害者リハビリテーションセンター研究所の井上剛伸氏に参加要請) で、一定の条件を満たす他の団体・組織も参加可能となるようなより世界規模の連盟組織へ発展させていくことで合意が得られ、アクション・プランの作成が開始されました。

その後も引き続き井上氏が中心となって会議 (web 会議を含む) に参加していただき、2019年5月24日には、この連盟への参加を呼び掛けるインターネット・カンファレンスが開催され、多くの団体・組織から参加希望や参加条件についての問い合わせなどが寄せられました。この際、より国際的な組織化を目指すことと、専門職組織だけでなく、当事者団体なども参加可能なようにするため、会の名称が国際支援技術組織連盟 (IAATO: International Alliance of Assistive Technology Organization) と改められました。

さらに、2019年8月にイタリア・ボローニャで開催された AAATE における IAATO 会議では、英国やこの分野の、途上国を含む全ての国・地域での発展を目指して、世界支援技術組織連盟 (GAATO: Global Alliance of Assistive Technology Organization) と改称され、アフリカ、南米、英国などの加入に向けた動きが確認されています。GAATO のアクションプランとして、2020年の RESNA カンファレンスの際に、最初の AT 世界会議が開催される予定で準備が進められているところです。

さらに、ボローニャでの会議において、アクションプランの一環として、リハ工学関係者のいっそう

の協力を世界規模で進めていくための10項目の宣言 (Bologna Declaration) が発表されました。世界中のRE/AT関係者や関係組織に広く賛同を求めるものです。当協会 (RESJA) も中心メンバーとして、GAATOを推し進めてきた一員として、この宣言に署名しまし

た。ここに協会会員の皆様に、ボローニャ宣言10項目の邦訳を提示し、協会として署名したことをご報告いたします。

2020年1月吉日